



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月5日

上場会社名 名糖産業株式会社

上場取引所 東名

コード番号 2207 URL <http://www.meito-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三矢 益夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経理部長 (氏名) 山崎 潔

TEL 052 521 7111

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	18,107	5.9	229		1,171	596.4	894	30.3
2020年3月期第3四半期	17,101	3.2	638		168	78.0	686	15.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 4,117百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 136百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	52.93	
2020年3月期第3四半期	40.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	72,598	45,020	62.0
2020年3月期	66,949	41,274	61.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 45,020百万円 2020年3月期 41,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				22.00	22.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年3月期期末配当金の内訳 記念配当 2円00銭

2021年3月期(予想)期末配当金の内訳 特別配当 4円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	4.4	300		1,250	347.7	950	56.2	56.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	17,265,000 株	2020年3月期	17,265,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	370,624 株	2020年3月期	370,233 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	16,894,584 株	2020年3月期3Q	16,894,933 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、輸出や消費が激減するとともに経済活動が制限されて、大きな打撃を受けました。国の経済対策によって、景気は若干持ち直しの動きが見られたものの、その後の感染再拡大により、先行きへのさらなる下振れ懸念が強まることとなりました。

当社グループの中核事業の一つである菓子・食品の市場におきましては、コロナ禍での生活不安による家計の防衛意識が高まるなかで、自粛生活に伴って外食から内食・中食へのシフトが急速に広がりました。

こうした情勢のもと、当社グループは、新型コロナウイルス対策を徹底するなかで、商品の安全性確保と品質の向上に引き続き注力するとともに、おいしさや健康を追求した高付加価値商品の提供や中核ブランドの強化を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、巣ごもり生活による消費の増加も影響して、前年同期と比べて5.9%増の18,107百万円となりました。営業利益につきましては、新チョコレート工場の減価償却費の負担は重いものの、売上高の増加や売上原価率の改善などにより229百万円となりました。前年同期は638百万円の営業損失でありました。また、経常利益は、営業利益の改善に加えて受取配当金の増加や新工場の企業立地奨励金などにより、前年同期と比べて596.4%増の1,171百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期の特別利益に固定資産売却益1,135百万円を計上したことなどにより、前年同期と比べて30.3%増の894百万円となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

食品事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大により企業活動や個人消費が低迷するなか、主力の菓子部門は巣ごもり消費による需要の拡大などにより増収となりました。チョコレート類は、アルファベットチョコレート50周年企画などの販売促進プロモーションを実施しましたところ、「アルファベットチョコレート」などのファミリーサイズの商品が売上を大きく伸ばして増収となりました。キャンディ類は、自社商品・受託商品ともに売上を落とし減収となりました。

粉末飲料部門は、テレビCMや増量企画などの販売促進活動を展開しましたところ、分包アソートタイプの「スティックメイト」シリーズやレモンティーなどの売上が拡大して増収となりました。

主として九州地区で製造・販売している冷菓部門は、自社商品・受託商品ともに売上が好調に推移して増収となりました。

そのほか、連結子会社の株式会社エースベーカーは、ゼリー類が受託商品の売上を伸ばしたことなどにより増収となりました。

これらの結果、食品事業の売上高は前年同期に比べ5.4%増の16,174百万円となりました。営業損益につきましては、売上高の増加や売上原価率の改善などにより391百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は205百万円の営業損失でありました。

化成品事業

酵素部門につきましては、脂肪分解酵素「リパーゼ」の売上は微増でしたが、チーズ用凝乳酵素「レンネット」の売上が海外を中心に拡大して増収となりました。

また、薬品部門につきましては、医薬品関連用途での「デキストラン」の売上が大きく伸びて増収となりました。

これらの結果、化成品事業の売上高は前年同期に比べ12.8%増の1,712百万円となりました。営業損益につきましては、売上原価率の改善や販売費の減少などにより251百万円の営業利益となりました。なお、前年同期は8百万円の営業損失でありました。

不動産事業

不動産事業につきましては、賃貸マンションの売却などにより、売上高は前年同期に比べ4.8%減の221百万円となり、営業利益は前年同期に比べ6.3%減の84百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,550百万円増加し、13,000百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が1,147百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4,098百万円増加し、59,598百万円となりました。これは、保有する株式の株価の上昇などにより投資有価証券が4,768百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ5,649百万円増加し、72,598百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ907百万円増加し、6,411百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が410百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ996百万円増加し、21,166百万円となりました。これは、長期借入金が428百万円減少したことや、保有する株式の株価の上昇などにより繰延税金負債が1,449百万円増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,903百万円増加し、27,578百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,745百万円増加し、45,020百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が3,308百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月6日に公表いたしました2021年3月期の通期連結業績予想を修正しております。

当該予想の修正に関する事項は、本日(2021年2月5日)発表の「通期連結業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,245	3,198
受取手形及び売掛金	4,412	5,560
有価証券	1,300	1,400
商品及び製品	1,018	1,216
仕掛品	487	434
原材料及び貯蔵品	941	1,152
その他	82	71
貸倒引当金	△39	△34
流動資産合計	11,449	13,000
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,131	9,625
機械装置及び運搬具（純額）	8,881	8,617
その他（純額）	4,685	4,823
有形固定資産合計	23,698	23,065
無形固定資産	98	95
投資その他の資産		
投資有価証券	31,501	36,269
その他	229	195
貸倒引当金	△28	△28
投資その他の資産合計	31,701	36,436
固定資産合計	55,499	59,598
資産合計	66,949	72,598

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,051	2,462
1年内返済予定の長期借入金	835	831
未払法人税等	52	97
返品調整引当金	4	4
その他	2,559	3,015
流動負債合計	5,504	6,411
固定負債		
長期借入金	11,995	11,566
繰延税金負債	4,763	6,213
役員退職慰労引当金	12	13
退職給付に係る負債	2,831	2,873
その他	567	498
固定負債合計	20,170	21,166
負債合計	25,674	27,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,313	1,313
資本剰余金	76	76
利益剰余金	26,839	27,362
自己株式	△707	△707
株主資本合計	27,522	28,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,638	16,947
退職給付に係る調整累計額	113	28
その他の包括利益累計額合計	13,752	16,976
純資産合計	41,274	45,020
負債純資産合計	66,949	72,598

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	17,101	18,107
売上原価	11,973	11,896
売上総利益	5,127	6,211
販売費及び一般管理費		
販売促進費	2,525	2,743
運送費及び保管費	1,107	1,199
給料手当及び賞与	1,105	1,161
退職給付費用	57	3
役員退職慰労引当金繰入額	1	1
貸倒引当金繰入額	34	△4
減価償却費	91	65
その他	842	810
販売費及び一般管理費合計	5,766	5,981
営業利益又は営業損失(△)	△638	229
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	643	827
投資有価証券売却益	158	0
持分法による投資利益	52	41
企業立地奨励金	-	139
その他	34	30
営業外収益合計	895	1,047
営業外費用		
支払利息	35	33
固定資産除売却損	40	52
その他	12	19
営業外費用合計	88	105
経常利益	168	1,171
特別利益		
固定資産売却益	1,135	155
特別利益合計	1,135	155
特別損失		
減損損失	-	57
製品回収廃棄損	-	40
支払補償金	-	25
固定資産圧縮損	437	-
固定資産除売却損	2	-
特別損失合計	439	123
税金等調整前四半期純利益	864	1,204
法人税、住民税及び事業税	29	231
法人税等調整額	148	79
法人税等合計	178	310
四半期純利益	686	894
親会社株主に帰属する四半期純利益	686	894

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	686	894
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△802	3,308
退職給付に係る調整額	△20	△85
その他の包括利益合計	△822	3,223
四半期包括利益	△136	4,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△136	4,117

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,350	1,518	232	17,101	—	17,101
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	15,350	1,518	232	17,101	—	17,101
セグメント利益又は損失(△)	△205	△8	89	△124	△514	△638

- (注) 1 セグメント利益又は損失の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	食品事業	化成品事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	16,174	1,712	221	18,107	—	18,107
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	16,174	1,712	221	18,107	—	18,107
セグメント利益	391	251	84	727	△497	229

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、各セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては57百万円であります。